

大学生の就職内定率

過去最低の 57.6%

前年同期比で 4.9 ポイント低下

旺文社 教育情報センター 22 年 11 月

文部科学省（以下、文科省）および厚生労働省（以下、厚労省）はこの程、大学・短大等の就職内定状況を発表した。それによると、来春卒業予定で就職を希望している大学生の就職内定率（以下、内定率）は、10 月 1 日現在で 57.6%（前年同期比 4.9 ポイント低下）で、“厳冬”といわれた前年度を下回る大変厳しい状況であることが判明した。

概況

● “就職氷河期”を下回る

大学生の内定率は、前年同期比で 4.9 ポイント下回り、調査を開始した 8 年度以降過去最低となった。“就職氷河期”といわれた 15 年度の 60.2%、16 年度の 61.3%さえも下回る低い水準である。また、短大女子も内定率、22.5%前年同期比－6.5 ポイントで、同じく過去最低を記録。底であった 15 年度と 21 年度の 29.0%を大きく下回る低水準にとどまった。

● 内 訳－国公立大女子、理系、“大幅に低下”－

大学生の内定率を男女別にみると、男子は 59.5%（前年同期比－3.8 ポイント）、女子は 55.3%（同－6.3 ポイント）と女子の下げ幅が大きい。文理別では、文系が 57.4%（同－3.8 ポイント）に対し理系は 58.3%（同－10.2 ポイント）。内定率では理系が高いが、下げ幅は“理系が大幅に低下”した。設置者別では、国公立大が 63.2%（同－8.1 ポイント）、私立大が 55.8%（同－3.8 ポイント）と国公立大の下げ幅が大きく、国公立大と私立大の内定率の差は、前年の 11.7 ポイントから 7.4 ポイントに縮まった。特に国公立大女子は 62.2%（同－11.6 ポイント）と“最大の下げ幅”を記録。また、国公立大理系も 60.6%（同－11.2 ポイント）と大幅に下げた。

地域別の内定率では、全ての地区で低下しており、九州地区 51.5%（同－8.2 ポイント）が最も低く、関東地区 61.0%（同－1.9 ポイント）が最も高い結果となった。また、下げ幅では、中部地区 51.9%（同－9.5 ポイント）が最も大きく下げた。

文科省と厚労省が調査した 10 月 1 日現在の大学生の就職内定率は、調査開始以来過去最低となった。内定率は例年 3 月にかけて上昇していくが、前年にも増して非常に厳しい結果となった。

このような状況を踏まえ、厚労省では「新成長戦略実現に向けた 3 段階の経済対策」に基づき、来春の新卒者及び未就職卒業者（以下、新卒者等）に対する就職支援を集中的に実施し、新卒者等の就職の実現に全力で取り組む。具体的には、①新卒者等支援の専門職員を大幅に増員し、各大学等毎に専任の担当を設け、より大学等と連携を図れる体制を整備し、大学等のニーズに応じ、求人情報等の定期的な提供、学生に対する出張相談、就職面接会・企業説明会の開催等を実施。②新卒者等が気軽に利用し、担当者制による個別支援などを受けることが出来る『新卒応援ハローワーク』の新設。③卒業後 3 年以内の既卒者の就職促進のための、企業への奨励金の創設等の取組を進める。以上のこれらの取組を、より効果的・効率的な支援となるよう大学等に広く周知するとともに、労働局及びハローワークと大学等との連携をさらに深めていくことが必要である。」と就職支援の強化についての対策を発表した。

<文科省・厚労省の調査概要>

○調査依頼先

設置者・地域の別等を考慮し、文科省・厚労省において抽出。大学 62 校（国立 21 校、公立 3 校、私立 38 校）、短大 20 校、高等専門学校 10 校、専修学校 20 校、合計 112 校。

○調査対象人員

大学・短大・高等専門学校……計 5,690 人、専修学校……560 人、計 6,250 人

○調査方法・内容

各大学等において、所定の調査対象学生を抽出した後、電話・面接等の方法により、性別、就職希望の有無、内定状況につき調査を実施。

○調査時期

平成 22 年 10 月 1 日、12 月 1 日、23 年 2 月 1 日、4 月 1 日の 4 回実施

なお、各調査結果の詳細については、以下の集計表をご覧ください。

平成 22 年度

大学・短大・高等専門学校卒業予定者の就職内定状況調査（10 月 1 日現在）

*調査対象＝大学 62 校、短大 20 校、高等専門学校 10 校の計 92 校の抽出調査。

*就職内定率＝就職希望者に対する現時点での内定者の割合。

*前年度就職率＝平成 22 年 4 月 1 日現在調査の前年度卒業学生の就職率。

*カッコ内は前年度同期調査からの変動値（ポイント：▲は低下）。

[全 体]

区 分	就職希望率	就職内定率	前年度就職率
大 学	73.6% (▲2.8)	57.6% (▲4.9)	91.8%
国公立	53.8% (▲3.1)	63.2% (▲8.1)	94.5%
私 立	83.5% (▲2.5)	55.8% (▲3.8)	90.8%
短期大学	79.6% (0.0)	22.5% (▲6.5)	88.4%
高等専門学校	56.3% (▲0.5)	93.8% (▲0.9)	99.5%
合 計	73.0% (▲2.3)	56.0% (▲5.0)	91.9%

[男 子]

区 分	就職希望率	就職内定率	前年度就職率
大 学	68.6% (▲2.7)	59.5% (▲3.8)	92.0%
国公立	46.3% (▲1.9)	64.1% (▲4.9)	94.1%
私 立	80.6% (▲3.0)	58.1% (▲3.4)	91.4%
高等専門学校	56.3% (▲0.5)	93.8% (▲0.9)	99.5%
合 計	67.1% (▲2.3)	63.1% (▲3.4)	92.9%

[女 子]

区 分	就職希望率	就職内定率	前年度就職率
大 学	80.6% (▲2.8)	55.3% (▲6.3)	91.5%
国公立	65.7% (▲4.9)	62.2% (▲11.6)	94.9%
私 立	87.3% (▲1.8)	53.0% (▲4.3)	90.2%
短期大学	79.6% (0.0)	22.5% (▲6.5)	88.4%
合 計	80.4% (▲2.3)	48.6% (▲6.5)	90.9%

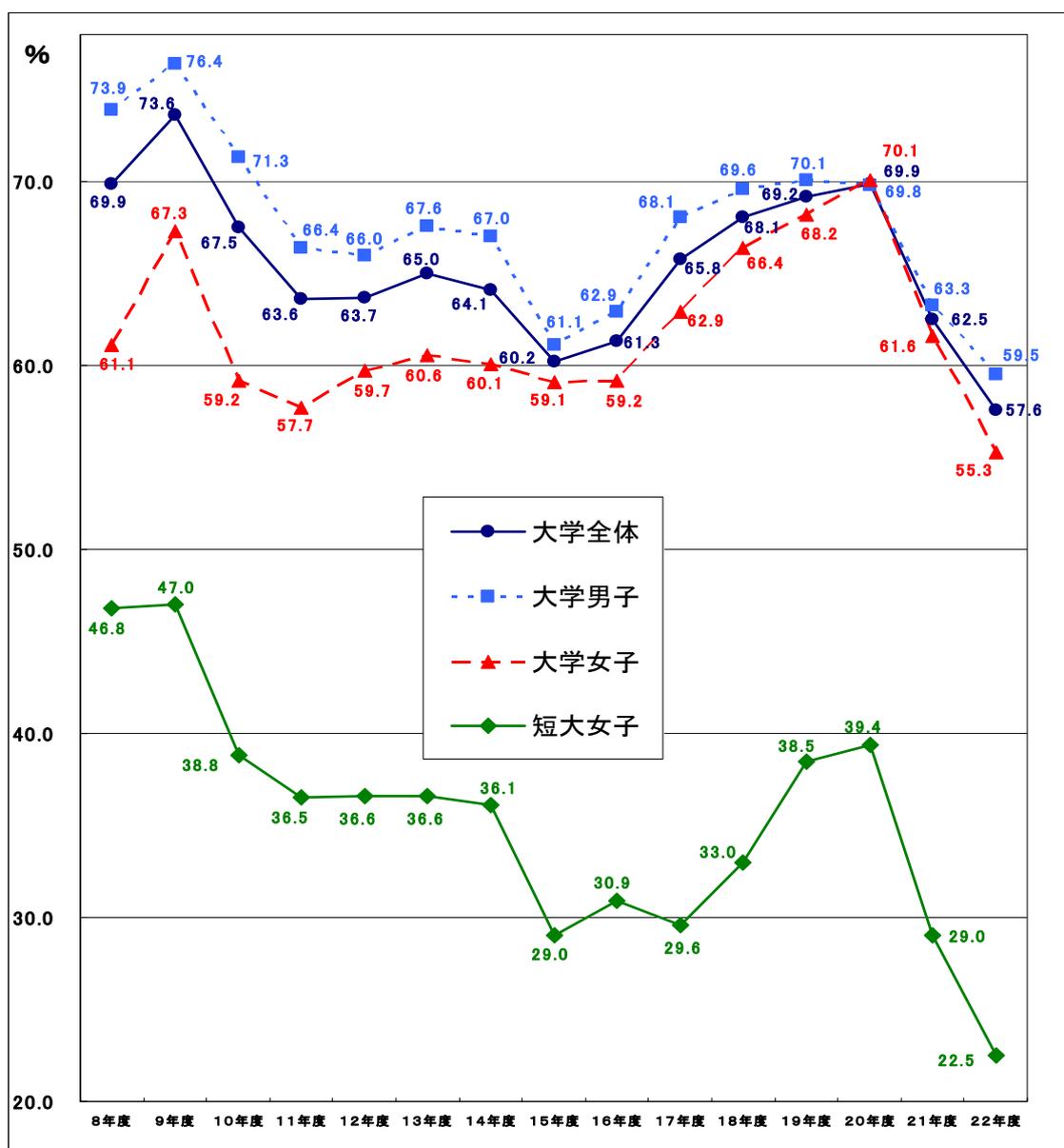
[大学：文理別就職内定率]

区分	文系	理系
大学	57.4% (▲3.8)	58.3% (▲10.2)
国公立	64.4% (▲6.6)	60.6% (▲11.2)
私立	55.7% (▲3.0)	56.4% (▲9.3)

[大学：地域別就職内定状況]

地域	就職内定率	地域	就職内定率
北海道・東北	55.6% (▲5.0)	近畿	60.5% (▲4.6)
関東	61.0% (▲1.9)	中国・四国	53.0% (▲6.7)
中部	51.9% (▲9.5)	九州	51.5% (▲8.2)

◆ 大学・短大卒業予定者の就職内定率（10月1日現在）の推移◆（図1）



※平成8年度から、文部科学省・厚生労働省調査を実施。